

- 問1 北海道の太平洋側に夏に発生する濃霧は、周辺の気候や産業に大きな影響を与えます。この霧が発生する一因となっている、北から南下してくる寒流の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 日本海流 2. 対馬海流 3. 黒潮 4. 親潮
- 問2 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 北海道 2. 奈良県 3. 東京都 4. 京都府
- 問3 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 伝統的な手作業を中心とした多角経営 2. 労働力集約型による小規模経営 3. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業 4. 大型の機械を活用した大規模経営
- 問4 北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 季節風の影響で一年中雨が多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため 2. 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため 3. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため 4. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため
- 問5 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。 2. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。 3. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。 4. 暖流に乗って流氷とともにやってくるカツオやマグロなどの大型魚を一本釣りで狙う。
- 問6 北海道ではパルプ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため 2. 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため 3. 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため 4. 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため
- 問7 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。 2. 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。 3. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。 4. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
- 問8 北海道の十勝平野などで行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年ごとに順序立てて栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. ビニールハウスなどの施設を利用して成長を早め、出荷時期をずらすことで収益を上げるため。 2. 1年間に同じ土地で2種類の作物を栽培し、土地の利用効率を最大限に高めるため。 3. 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。 4. 機械化による作業効率を向上させるため、1つの農地で1種類の作物のみを栽培し続けるため
- 問9 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 2. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 3. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 4. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。
- 問10 北海道の県庁所在地である札幌市の気候の特徴を説明した文として、統計データに基づき正しく述べたものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。 2. 1年を通じて気温の変化が小さく、1月の平均気温も15度を上回り、夏に極めて多い降水量が見られる。 3. 1月の平均気温は5度前後であり、夏には梅雨の影響で雨が非常に多いが、冬は乾燥して晴天が続く。 4. 夏は非常に高温になる一方で、冬の降水量が極端に少なく、年間降水量が1000mmを下回る乾燥した気候である。
- 問11 本州の最北端に位置し、北海道の松前半島付近から津軽海峡の海底を通る青函トンネルによって、北海道と陸路で結ばれている県はどこですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 山形県 2. 青森県 3. 岩手県 4. 秋田県
- 問12 国際連合の専門機関の一つで、教育・科学・文化の振興を通じて国際平和に貢献することを目的としており、人類共通の財産を保護するための「世界遺産リスト」を管理している組織の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. ユネスコ 2. 国際労働機関 (ILO) 3. 世界保健機関 (WHO) 4. ユニセフ

答え合わせ・解説

問1	答え 4 親潮	北海道の東方沖を北から南へと流れる寒流は「親潮（千島海流）」です。夏に太平洋から吹く湿った季節風がこの冷たい親潮の上を通過することで、水蒸気が冷やされて霧が発生します。一方、黒潮（日本海流）は日本の南岸を北上する暖流であり、この霧の発生原因とは異なります。
問2	答え 1 北海道	北海道は、明治時代以降の開拓という歴史的背景から、京都府や奈良県のような古都と比較して歴史的な建造物の数は少ない傾向にあります。その一方で、広大な土地と豊かな自然環境を活かした国立公園などの自然景勝地や、スキー場・キャンプ場といったレクリエーション施設が非常に多く、自然観光を中心とした独自の産業構造を持っています。
問3	答え 4 大型の機械を活用した大規模経営	北海道は平坦で広大な土地に恵まれているため、他地域のような小規模な農地を細かく管理するスタイルではなく、広大な農地を少人数で管理する「大規模経営」が行われています。この形態を維持するために、大型の機械が不可欠な道具となっており、これが北海道の景観や農業の強みとなっています。
問4	答え 2 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため	上川盆地は海から離れた内陸に位置しているため、夏は海沿いの地域に比べて気温が上昇しやすい「内陸性気候」の性質を持っています。稲の結実には夏の一定以上の高温が必要であるため、この気候特性が北海道での稲作を可能にしています。一方で、冬は非常に寒さが厳しく、積雪量が多いことも特徴の一つです。
問5	答え 3 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。	網走や紋別などのオホーツク海沿岸の都市では、分厚い氷を砕きながら進むことができる「砕氷船」が運航されており、冬の北海道を代表する観光地となっています。流氷は寒冷な親潮（千島海流）の影響を受けて南下してくるものであり、暖流とは無関係です。また、流氷の上を歩いて国境を越えるような観光は行われていません。
問6	答え 1 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため	パルプ・紙・紙加工品製造業は、木材を原料とするため、森林資源が豊富な地域で発達しやすいという特性があります。北海道は日本全体の森林面積の多くを占めており、この豊かな森林資源を背景に製紙業などが地域の主要産業へと成長しました。
問7	答え 1 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問8	答え 3 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。	同じ土地で同じ作物を繰り返し栽培し続けると、特定の病害虫が発生しやすくなったり、土壌の養分が偏ったりして作物の育ちが悪くなる「連作障害」が発生します。これを防ぐために、豆類、小麦、てんさい、じゃがいもといった性質の異なる作物を順番に植え替えることで、土地の生産性を維持しています。
問9	答え 3 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問10	答え 1 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。	札幌市の気候は、北国特有の寒冷な性質を持っています。気温の面では、1月の平均気温がマイナス5度付近まで低下する厳しい寒さが特徴です。降水量の面では、本州以南で見られるような梅雨や台風による極端な降水量の増加が少なく、年間を通じて各月100mmから150mm程度と、比較的安定した推移を見せるのが冷帯（亜寒帯）に属する地域の傾向です。
問11	答え 2 青森県	本州と北海道の間にある津軽海峡には、世界最長の海底トンネルの一つである青函トンネルが通っています。このトンネルは青森県と北海道を結んでおり、新幹線や貨物列車が走行することで、天候に左右されない安定した輸送ルートとしての役割を果たしています。
問12	答え 1 ユネスコ	第二次世界大戦後の1946年に創設された組織で、正式名称を国際連合教育科学文化機関といいます。教育や文化活動を通じて諸国民の連帯を強めることで、戦争の防止と平和の維持を目指しています。世界遺産条約に基づき、価値のある自然や文化財を登録・保護する活動で広く知られています。